

必要な物資をいち早く届けるために

ヤマト運輸株式会社と災害協定締結

9月22日、町はヤマト運輸株式会社と、災害時の支援物資の受け入れと配送に関する協定を結びました。

本町に物流ターミナルを有する同社。熊本地震の際は、全国からの支援物資の配送に尽力いただきました。今回の協定により、災害時に被災者のニーズに沿った円滑な物資配送が可能になります。

同社の田邊慎也熊本主管支店長は、「支援物資の計画的な配送に加え、配送時の物資ニーズの聞き取りなど、総力をあげて力を尽くしていきたい」と話しました。



協定書を掲げる田邊支店長と西村町長



小林環境カウンセラー(一番左)から生き物の説明を受ける児童たち

水がきれいな川であることを確認

飯野小で環境学習

9月28日、飯野小児童たちが、川にすむ生き物の調査を行いました。

同小では、定期的に環境省の小林修環境カウンセラーこばやしおさむを招き、ビオトープ(生物生息空間)作成などの環境にまつわる学習を行っており、この日は3年生が岩戸川の生き物を調査。「あっちにいたよ」と教え合いながら、川辺から上手に網を使いヤゴやサワガニ、カゲロウなどを捕まえ、小林環境カウンセラーから「これらの生き物は水がきれいな川にしかないんだよ」と説明を受けました。

町の未来を担う女性リーダーへ

ましき女性みらい塾が開講

10月1日、ましき女性みらい塾が開講し、第1期生14人が女性リーダーへの第一歩を踏み出しました。

初回となるこの日は、交流情報センターミナテラスで講義「地域における女性リーダー人材育成の必要性とその役割」と、「町の魅力」を話し合うグループワークが行われました。3つのグループに分かれた受講者たちは、活発に意見を交わし、その結論を堂々と発表しました。

同塾では、町内各地で全5回の講座を実施予定。町の未来を担う女性リーダーの誕生が期待されます。



オンライン受講者(中央スクリーン)も参加してのグループワーク

Pickup Plus+
今月のプラス



10月14日、嘉島町民会館で県公民館大会が開催され、「NPO 法人益城だいきプロジェクトきままに」吉村静代よしむらしずよ代表が講演を行いました。同大会は、コミュニティ施設である公民館活動発展のため開催されているもの。吉村代表は、避難所での体験を基に地域のつながりの大切さを訴えました。